

② 対象となる子ども

○ 聞こえにくい子（難聴）

- ・補聴器や人工内耳をつけている。



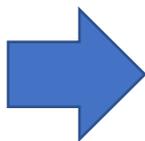
学習のねらい

- ・補聴機器を活用し、聞き取りの力を高める。
- ・視覚的な手段を活用し、情報収集力を高める。
- ・基礎的な言語力を育てる。
- ・コミュニケーションの力を育てる。
- ・難聴について学ぶ。

○ 言葉がつまって話しにくい子（吃音）

- ・話すときに、音や言葉を繰り返したり、引き伸ばしたり、言葉が出にくかったりする。

例「あ、あ、あそぼう」
「あーそぼう」
「・・・あそぼう」



学習のねらい

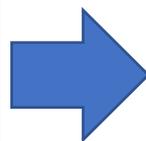
- ・楽に読んだり話したりする。
- ・コミュニケーションの力を育てる。
- ・話すことへの自信を育てる。
- ・吃音について学ぶ。

○ 発音に誤りがある子（発音）

- ・正しく発音できない音がある。

例「さかな」→「たかな」
「ケーキ」→「チェーチ」

- ・こもったような音、息がもれるような音になる。



学習のねらい

- ・習慣化している誤りの状態を改善し、正しい発音ができるようにする。
- ・コミュニケーションの力を育てる。